



通帳と印鑑は  
同じところにしまっちゃ  
ダメよ。

「通帳・キャッシュカードの盗難とは？」  
盗んだ通帳やキャッシュカードを  
使って銀行口座から不正に預金を  
引き出す犯罪です。

空き巣や車上荒らし、置き引き、スリなどの犯行時に通帳と  
印鑑と一緒に盗み、銀行口座から預金を引き出します。  
キャッシュカードの場合は、一緒に財布に入っていた  
運転免許証などの生年月日や住所から暗証番号を  
推測するなどして、預金を引き出します。

通帳・キャッシュカードの盗難  
チェックリスト **こんな場合は危ない!**

- 通帳と印鑑はいつもセットにして保管している。
- 生年月日や住所、電話番号などをキャッシュカードの暗証番号にしている。
- キャッシュカードの暗証番号を他のカードやロッカー、携帯電話などの暗証番号としても使っている。
- 銀行員や警察官を名のる電話があり、キャッシュカードの暗証番号を聞かれて、答えた。

**手口1:通帳・印鑑を盗み、預金を引き出す。**

空き巣や車上荒らし、置き引き、スリ、ひったくりなどの犯行時に通帳と印鑑を盗み、本人になりすまして預金を引き出す。印鑑を盗まずに、通帳に添付されている副印鑑票から印鑑を偽造し、預金を引き出すこともある。

**手口2:キャッシュカードを盗み、預金を引き出す。**

暗証番号をキャッシュカードと一緒に盗んだ運転免許証などの生年月日や住所から推測したり、ATMを操作している背後からのぞき見したりして、預金を引き出す。また、銀行員や警察官を装った電話で「キャッシュカードが落し物として届いています。確認のため暗証番号を教えてください。」などと言って、暗証番号を聞きだすことも。

**被害状況**

■盗難通帳による払出し件数と金額					
時期	件数	金額	平成15年度	674	19億5,800万円
平成12年度	1,118	21億7,800万円	平成16年度	268	3億5,000万円
平成13年度	786	16億5,800万円	平成17年度	217	9億5,000万円
平成14年度	1,294	41億6,500万円	平成18年4~6月	49	3,700万円
■盗難キャッシュカードによる預金等引出し件数と金額					
平成17年10~12月	平成18年1~3月	平成18年4~6月			
1,432件 9億8,600万円	1,410件 7億9,500万円	1,250件 5億9,500万円			

<全国銀行協会による調査結果より(調査対象:全銀協正会員・準会員184行)>

**マギー's アドバイス**

通帳・キャッシュカードの盗難から身を守るポイント



- その1** 通帳と印鑑はいつも別々に保管しなくちゃダメよ。通帳記入やインターネットで、残高をこまめに確認することも大切よ。
- その2** キャッシュカードの暗証番号は、誕生日とか電話番号とか推測されやすいのはダメ。もしも推測されやすい暗証番号を使っている場合は、ATMなどですぐに変更してね。
- その3** 通帳やキャッシュカードを失くしたら、すぐ取引銀行に連絡してね。警察や銀行から電話がかかってきても、ニセ者かもしれないから、暗証番号は教えちゃダメよ。